平成28年度当初予算市長復活査定総括票

別紙1

(単位・千円)

		27年度現	計予算額	2	8年度	当初財政	改課長	内示額		28年	F度当衫	財務語	『長復』	舌内示	額	28年	度当初	刀予算市	5長復決	舌要求	額		市	長復活	査定額	<u>豆:十円</u> 〔		Т	行政
事	業名	総 好	一般 財源	終 額	国支出金	府支出額	起借	その他	一般財殖							総額						総 額	国支出金	府支出額	起債	その他	405 目才消息	頁	全宮 計画 杏定
1	地産地消推進事業	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0		4,500			лужда вк	AG		4,500		<u>1.4.</u>
2									0						0						0						0		
3									0						0						0						0		
4									0						0						0						0		
5									0						0						0						0		
6									0						0						0						0		
7									0						0						0						0		
8									0						0						0						0		
9									0						0						0						0		
10									0						0						0						0		
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,500	0	0	0	0	4,500	4,500	0	0	0	0	4,500		

※行政経営計画査定欄には、「平成28年度行政経営計画に係る事務事業の取組方針(案)について」の政策的査定結果を記入して下さい。

(目名) 農業振興費

(細目名) 地産地消推進事業費

(事業名) 地産地消推進事業

(単位:千円)

	総額		財	京] 訳		査 定	定総額			財	源内	訳		
	祁	国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源	且人	人 化 市 行	싅	国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源	
平成 26 年度 決算額	0	0	0	0	0	0		4,500							
平成27年度当初予算額	0	0	0	0	0	0			00			ĺ		4,500	
平成27年度現計予算額	0	0	0	0	0	0									
平成28年度当初要求額	4,000	0	0	0	0	4,000		女名 40 红 4					年度~		
平成28年度当初財政課長内示額	0	0	0	0	0	0	连级		<u>.</u> 4			千円(年度)	
平成28年度財務部長復活內示額	0	0	0	0	0	0	貝務身	負担行為				TH	平及~	+ 段)	
平成28年度復活要求額	4,500	0	0	0	0	4,500									

(目的)

本市の一次産業は、生産規模は大きくないが地域の生業であり、自然との共生を考えるまちとしての強みでもある。これらの産業は、観光振興と組むことで雇用創出、安定化など地域経済の活性化に繋がる潜在力をもっている。しかし、本市の農林水産業を維持し、将来へ向けて持続可能な産業としていくには、青年就業者の雇用や経済的な安定化を図っていく環境づくりが必要である。

容

(概要)

将来の担い手となる農業・漁業従事者や新規就業者の生産供給能力の向上などノウハウを身に着けていく人材育成の環境づくり(体制づくり)を図りつつ、販売力、地場産品のブランドカの向上を図っていく。そのために、現在設立している阪南市6次産業化・地産地消推進協議会の機能を拡充し、日曜市や交流イベント活動の企画から、普及促進活動の支援などに対する助成など本市独自の支援活動を行う。

(根拠法令)

まちひとしごと創生法第10条に基づき策定された阪南市総合戦略、同左アクションプラン

[復活理由]

本市においては、産業の担い手不足な状況が続いており、地方創生の位置づけのもと農業及び漁業振興施策の強化と推進を持続していく体制づくりが急務である。

予算要求内容

市内において、担い手の供給力をつけていく環境があることと併せて地場産品のブランド力をつけることや地産地消の推進による販売力低下を防ぐ環境づくり、日曜市・体験ツアーなどのイベントによる活性化を図っていく。

平成28年度~平成31年度 28年度;計画策定及び準備 29年度~31年度;事業実施

- 1. 本市の特色を活かした地場産物の普及促進活動を行う。
 - ・地場産物の情報発信(広報活動)
 - ・試食会や料理教室の開催などの活動を支援(阪南マルシェと協同)
- 2. 阪南市の地場産物について付加価値を高めるブランド創出を支援する。
- ・地場産物の品質管理の情報発信・各産物のストーリー、キャッチフレーズ、ロゴなど の作成。
- 3 産直施設、庭先販売の開設支援・助成を行う。
- 4. 日曜市や農業・漁業体験ツアーなど交流イベントを企画・実施していく。